



日光修験の華供峰では、深山巴ノ宿での11日間の滞留修行中に勝道上人が修行したと伝えられる三昧石まで足を延ばす。

三昧石は若き日の勝道上人がこの地で修行をしたと伝えられる伝承地。窟内の金剛堂・不動明王坐像及び立像が鎮座する威厳に満ちた静寂な空間に圧倒される。



当会員 35 名一行は、日光修験冬峰及び華供峰の修行拠点となった深山巴ノ宿を訪れた後、横根山の旧跡三昧岩を訪れた。今回は瑞峰寺住職井上瑞源さんご高配により窟内拝観が許可された。下山後、瑞峰寺を訪れ、井上住職の講話を拝聴し散会した。